

サーチザツリーをした時、問題をみんなで解きながら景色を見られて、とてもいい学習でした。山を見た時、きれいにすき間が空いていたので「すごく手入れをしているんだなあ」と思いました。また、丸太をきれいに切れたのでうれしかったです。僕の丸太の年輪は26歳でした。サーチザツリーをしていると、葛川の先生に「とちのき」を見せてもらって、とちの実ももらって「栗みたいだな」と思いました。「あすなろ」がなかなか見つからなくて困りました。芝生のところに鹿のふんが落ちていて「すごくきれいにされているから鹿が来るんだなあ」と思いました。葛川最高！森林のことを教えてくださってありがとうございました。

サーチザツリーでは、いろいろな木を見ることができて楽しかったです。一つ思ったことがあります。それは「もし葛川少年自然の家で火事が起きたら、森林は燃えるのかな」ということです。丸太切りも楽しかったです。「木を切るのには力がとても必要で、森林で働く人たちは、たくさん苦勞をされているんだ」と思いながら、木を切りました。普段できない体験ができてうれしかったです。

サーチザツリーでは、木の一つ一つに様々な特徴があることや、よく見ないと木の種類が見分けられないことが分かりました。丸太切りは意外と疲れました。とても堅くて太いので「立派な木だったんだろうな。育てられるまでしっかりと手入れしているんだろうな」と思いました。年輪で木の年齢が分かるということも知りました。サーチザツリーでは、葛川の人から「この葉っぱの枚数は何枚だと思う？」と聞かれて、5枚か6枚ほどに分かれていたので、みんな「5・6枚」と答えたのですが「答えは1枚」と言われました。「クローバーに似ているな」と思いました。(とちの木の葉っぱのことですね)

児童の感想 (抜粋)

丸太切りをして思ったことは、切るのがすごく大変で、木はとても丈夫なことが分かりました。「家の柱に使われることで、住んでいる人にとってとても安心できる、丈夫な家ができる」と思いました。また「私たちが切った丸太はどの木なんだろう」とも思いました。森にはたくさん、似ている木があって、サーチザツリーの時も探すのが大変でした。「木がたくさんあって、その木が災害を防いでくれる一つなんだ」と思いました。学校でビデオを見て、木がギュウギュウだと木が大きく育たないと聞いたので、葛川の木を見てみると「きちんと整備されている森なんだな」と思いました。景色はとてもきれいで自然に囲まれているので、普段感じる事ができない自然の様子を感じることができました。今はコロナで泊まれませんでしたが、普段できないことをたくさんさせてくれてありがとうございました。

木の種類をたくさん知ることができました。僕は、木を切るときに時間がすごくかかったけど、先生に手伝ってもらった時、とても速いスピードで切っていたので、驚きました。

木の周りの土を見て「この木が災害を防ぐんだ」ということや「木の年輪はなぜできるのかな」など、いろいろなことを考えました。「災害を防ぐために、木を大切にしよう」と思ったり、「この木は、ちゃんと水を吸っているのかなあ」と思ったりして、自然や森林の大切さや良さを感じることができました。他の人にも知ってもらいたいと思いました。

サーチザツリーでは、問題の答えを最初は早く見つけられましたが、だんだん難しくなって、答えを見つけるのに時間がかかりました。「あすなろ」の問題が難しかったです。丸太切りでは、来るのがとても難しかったです。腰も痛くてとても疲れました。丸太切りをした後、めちゃくちゃのがあつたので、めちゃくちゃお茶を飲みました。やすりで磨くのもとても大変でした。丸太のにおいがとてもいいにおいでした。楽しかったです。

